

- ◇ 令和6年11月25日(月)
- ◇ 10:00 ~ 12:45
- ◇ 押切小学校 会議室

協議会 10:00~10:45

6年生のプレゼンテーション

10:50~11:20

授業参観 11:30~12:15

給食試食あり



◇ 学校運営の状況報告 渡邊 岳 校長

○11月17日の創立150周年記念式典はとても良い会であった。地域とのつながりを実感できた。

○「150年の歴史とともに、新たなスタート」を合言葉にして今年度の学校運営を進めてきた。めざす学校像やめざす子ども像に掲げた「ニコニコ」「ワクワク」「イキイキ」を学校だけでなく、学級・委員会・PTAで共有しながら取り組んできた。

○今年度の重点とした「新しいことに挑戦・みんなで知恵を出し合って・本気で取り組む」については、創立150周年事業を通して、コロナ禍で衰退が懸念された「地域とのつながり」を深めるとともに、児童が「夢や生き方」を考える活動を仕組むことを目指してきた。7月の授業参観で保護者と一緒に作成した「ワクワク凧」は、10月に大空に舞い上げることができ、子どもたちのよい表情がとても印象的だった。

生き方を学ぶということで、地域の偉人であり、女性初の理学博士号を取得した加藤セチ先生の生き方について、道徳の教科書を執筆した鶴岡市在住の長南征子先生を招いて授業を行った。また、加藤セチ先生がどんな研究をしていたかを、山形大学の栗山恭直教授が来校してくれて、授業を行ってくれた。

150周年では、押切小学校出身の元ブルーインパルス隊長遠渡祐樹さんに講演していただいた。夢を持ち諦めずに取り組むことが大切だと教えていただいた。講演会后、2年生の児童が、「僕もあきらめずに頑張りたい」と感想を書いてくれた。子どもたちの心を動かすいい講演だった。

○学習指導面では、「個別最適な学びとペア・グループ学習による協働的な学びの推進」を掲げ、1~3年生ではペア学習、4~6年生ではグループ学習を日常的に実施してきている。その成果の現れなのか、子どもたちがよく発言するようになった。講演後の遠渡さんへ質問を多くの児童がしてくれた。心を開き出しているように感じた。

- コロナ禍で通常の運営が困難だった図書館教育の充実と読書活動の推進が戻ってきた。保護者による読み聞かせも年間10回ほど開催されるようになり、子どもたちも楽しみにしている。
- 生徒指導面では、「学級での集団活動や縦割り活動を通した絆づくり・居場所づくり」に力を入れ、多様なかかわりから絆づくりや居場所づくりを行い、児童の自己有用感・自己肯定感を高めている。
- 若い先生たちの希望があり、全校ランチルーム給食を6月から毎日実施している。
- 縦割り活動での絆づくり、修学旅行を通した学級の絆づくり、重点月を決め委員会企画での活動づくりなど、子どもの思いを大切に活動で子ども同士の絆が深まっている。
- 健康指導面では、「多様な運動と望ましい生活習慣による健康な体づくり」に取り組んでいる。基本的な生活習慣を身につけ、主体的に運動に取り組む子どもをめざしている。
- 「ぶれない生活習慣作り」ということで、全学年の三川歯科さんによるブラッシング指導を行った。寝る時間やスクリーンタイムを守ることで課題もあるが、意識して取り組む児童も増えてきている。
- 器械体操教室やダンス・水泳、走ることに重点を置いた運動教室を実施した。持久走大会、相撲大会なども実施した。2年生の持久走では、13年ぶりに新記録を出した。目標を持って取り組んでおり、心の強さにつながっている。
- 地域との連携では、「地域の環境や人材を生かした三川ふるさと学習」に取り組んだ。米づくりの先生からアイガモ農法を学んだ。他にも、多くの地域ボランティアの方から、畑や茶道、ミシンの先生となって指導していただいた。
- 学びの成果を学習発表会で行った。6年生は、「みんなでつくろう！未来の三川町」として劇にした。各学年とも素晴らしい発表会だった。
- 4年生は、残飯を飼料化するということを山大農学部の先生に教わった。それを機にインドネシア小学生との交流を英語で行ったりしている。
- 子どもたちの学びの広がりを感じる一年だった。

◇ 学校運営の状況について 委員の方々より

- ・1年生がサツマイモを育て収穫した。町の食生活改善推進員の人たちとスイートポテトづくりを行った。調理実習もしたことのない1年生だからと心配していたが、班で協力して作り上げることができた。
- ・スポーツ少年団で活動していると、学校が「凡事徹底」として指導してくださることで、指導者に対するあいさつもしっかりしている。
- ・登下校の様子をみていて1年生の登下校は以前よりよくなった。テオトルの脇まで歩いていけるようになったことで、道路の横断もしやすくなった。
- ・不審者の情報も多くあったが、地域の見守りがしっかりしていることで安心して登下校させることができありがたい。
- ・学習発表会に参加して大変感激した。ペア学習やグループ学習の成果を感じた。
- ・委員会活動でロング休みの企画はよいのだが、参加しないという選択もぜひ欲しい。

- ・委員会企画に参加する優しさも必要だし、休み時間だから自分のしたいことをするという選択もあってよい。強制にしないこと、個の考えを尊重する優しさも大切にしたい。

◇ 6年生の発表「これからの三川町のために、自分たちができること」

3つの班の発表

「安心安全な町」「にぎやかで活気のある町」「協力して安心してらせる町」

【3つの班が、統計やグラフ等を活用してわかりやすくまとめてくれました。自分たちの学びについて、委員の方から感想やアドバイスをいただきました。】

- ・なの花まつりで「菜の花ご飯」を提供したかったが保健所から許可が下りず諦めた。
→そこで諦めないでほしかった。提供の方法はあるので地域の方に相談を。
- ・両田川橋の危険性について（歩道の設置）
→住民による署名活動が効果的。橋を架けかえることは難しいが、歩道だけの橋を隣接して設置することも可能である。
- ・老人ホーム等でボランティア活動をしたいが受け入れてくれるだろうか？
→コロナ禍の影響で外部の方との接触を遠慮している施設も多い。やれることがないか施設に問い合わせることが大事。
- ・自分たちの学習したことを町内に広めたいがその手段は？
→大変よいことだと思う。君たちの発表は町を明るくするし、大人の人たちにとってもありがたい。テオトル内に特設掲示をすることも可能。考えてみてください。

※その他にもいくつか発表があり、委員の方から感想やアドバイスをいただいた。

